・厚生労働大臣の定める掲示事項

（令和8年10月1日現在）

■1. 当院は、厚生労働大臣の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。

■2. 入院基本料について

1） 当院は、急性期一般入院料（日勤、夜勤あわせて）入院患者7人に対し1人以上の看護職員を配置しております。
一般病棟（2・3階病棟）では1日に21人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。
なお時間帯毎の配置は下記のとおりです。
◆朝8時30分～夕方17時30分まで、看護職員1人当たりの受持ち数は4人以内です。
◆夕方17時30分～朝8時30分まで、看護職員1人当たりの受持ち数は17人以内です。

一般病棟（5・6階病棟）では1日に21人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。
◆朝8時30分～夕方17時30分まで、看護職員1人当たりの受持ち数は4人以内です。
◆夕方17時30分～朝8時30分まで、看護職員1人当たりの受持ち数は16人以内です。

2） 療養病棟について
療養病棟（4階病棟）では1日に6人以上の看護職員（看護師及び准看護師）と1日に6人以上の看護助手が勤務しています。なお、時間帯毎の配置は下記のとおりです。
◆朝8時30分～夕方17時30分まで、看護職員1人当たりの受持ち数は10人以内です。
◆夕方17時30分～朝8時30分まで、看護職員1人当たりの受持ち数は38人以内です。

■3. 入院療養計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策及び栄養管理体制について
当院では、入院の際に医師を初めとする関係職員が共同して、患者さんに関する診療計画を策定し、7日以内に文書によりお渡ししています。また、厚生労働大臣が定める院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策及び栄養管理体制の基準を満たしています。

■4. DPC対象病院について
当院は入院医療費の算定に当たり、包括評価と出来高評価を組み合わせて計算する「DPC対象病院」です
※(基礎係数1.0283 ＋ 機能評価係数Ⅰ＋Ⅱ＋救急補正係数 0.3845 ＝ 1.4128)

■5. 明細書発行体制について
医療の透明化や患者さんへの情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しております。公費負担医療の受給者で医療費の負担の無い方についても、明細書を無料で発行しております。なお、明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点ご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合のその代理の方への発行を含め明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨お申し出ください。
健康診断の結果、健康管理に係る相談、保健・福祉サービスに係る相談及び夜間・休日の問い合わせへの対応を行っています。

■6. 中国四国厚生局長への届出事項
●入院時食事療養費（Ⅰ）及び入院時生活療養費（Ⅰ）
当院は、入院時食事療養費(Ⅰ)の届出を行っており、管理栄養士又は栄養士による管理の下に、適時（夕食については午後6時以降）、適温で提供しております。

・入院時食事療養費の標準負担額について（1食につき）

適用区分		標準負担額
一般および現役並み所得者	下記以外	550円
低所得者Ⅱ(70歳以上の市町村民税非課税者)	過去12ヶ月の入院日数が90日まで	270円
	過去12ヶ月の入院日数が91日以上	220円
低所得者Ⅰ(医療区分3または2)		130円

・医療療養病床に入院する65歳以上の者の生活療養費の標準負担額について

適用区分		食費	居住費
一般および現役並み所得者	下記以外	550円	430円
低所得者Ⅱ(70歳以上の市町村民税非課税者)	過去12ヶ月の入院日数が90日まで	270円	430円
	過去12ヶ月の入院日数が91日以上	220円	430円
低所得者Ⅰ	①に該当しない者	160円	430円
低所得者Ⅰ(①70歳以上の市町村民税非課税者、指定難病、老齢福祉年金受給者)		130円	0円

《施設基準による届出事項》

【1】外来・在宅物価対応料
　　入院物価対応料
【2】電子的診療情報連携体制整備加算２（外来）
【3】機能強化加算
【4】外来腫瘍化学療法診療料１
【5】バイオ後続品使用体制加算・導入初期加算
【6】地域支援・医薬品供給対応体制加算１
【7】がん薬物療法体制充実加算
【8】がん患者指導管理料イ、ロ、ハ
【9】薬剤管理指導料１・２
【10】がん治療連携指導料
【11】がん性疼痛緩和指導管理料
【12】CT撮影及びMRI撮影
【13】輸血管理料Ⅱ(輸血適正使用加算)
【14】BRCA１/2遺伝子検査
【15】検体検査管理加算（Ⅱ）
【16】糖尿病合併症管理料
【17】療養・就労両立支援指導料
【18】在宅持続陽圧呼吸療法指導管理の注２
【19】電子的診療情報連携体制整備加算１（入院）
【20】院内トリアージ実施体制加算
【21】救急外来医学管理料２
　　救急搬送医学管理料２
　　夜間休日救急医学管理料２
　　救急外来緊急検査対応加算２
【22】リハビリテーション
　　運動器（Ⅰ）、脳血管（Ⅱ）、呼吸器（Ⅰ）
【23】がん患者リハ
【24】摂食機能療法
【25】医師事務作業補助体制加算１・イ（１５対１）
【26】診療録管理体制加算１
【27】データ提出加算(2(ロ))(4(ロ))
【28】外来データ提出加算・在宅・リハビリ充実管理加算
【29】検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
【30】医療安全対策加算２
【31】医療機器安全管理料１
【32】感染対策向上加算２
【33】連携強化加算・ｻｰﾍﾞｲﾗﾝｽ強化加算
【34】救急医療管理加算１・２
【35】看護職員夜間１２対１配置加算１・イ
【36】急性期看護補助体制加算１（２５対１）
【37】急性期看護補助体制充実加算１
【38】療養病棟療養環境改善加算１
【39】療養環境加算
【40】身体的拘束最小化推進体制加算（療養病棟）
【41】認知症ケア加算２
【42】せん妄ハイリスク患者ケア加算
【43】二次性骨折予防継続管理料１、３
【44】人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
【45】ストーマ合併症加算
【46】総合機能評価加算（入退院支援加算）
【47】病棟薬剤業務実施加算２
【48】無菌製剤処理料
【49】静脈麻酔による深鎮静１
【50】麻酔管理料（Ⅰ）
【51】脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
【52】経腸栄養管理加算
【53】療養病棟入院基本料１　在宅復帰機能強化加算
【54】入退院支援加算１(ｲﾛ)・入院時支援加算
【55】在宅がん医療総合診療料
【56】在宅緩和ケア充実病院加算
【57】在宅患者緊急入院診療加算
【58】看護職員処遇改善評価料
【59】外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
【60】入院ベースアップ評価料
【61】患者サポート体制充実加算

【62】別添１の「第１４の２」の１の(2)に規定する在宅療養支援病院
【63】在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
【64】在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
【65】医科点数表第２章第１０部手術の通則の１６に掲げる手術（胃瘻造設）
【66】胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。）
【67】緊急整復固定加算
【68】緊急挿入加算
【69】介護保険施設等連携往診加算
【70】協力対象施設入所者入院加算
　対　・特別養護老人ホームくらしき
　象　・特別養護老人ホーム浅原桃花園
　施　・特別養護老人ホームくらしき里桜
　設　・ラナシカくらしき

同じ症状による通算の入院が１８０日を超えますと、患者さんの状態によっては健康保険からの入院基本料１５％が病院に支払われません。１８０日を超えた日からの入院が選定療養対象となり、当院において定められている金額（１日につき２，５７７円）は選定療養費として患者さんの負担となります。

■7. 保険外負担に関する事項について

区分	金額（税別）	
時間外料金	3,000円	自己都合で来院され、受診希望の方
休日料金	5,000円	〃
深夜料金	10,000円	〃

・室料差額は、下記のとおりです。（税込）

料金	病棟	病室名
15,400円(6室)	6階（1人室）	601,602,603,605,606,615号室
7,700円(9室)	6階（1人室）	607,608,610,611,612,613,616,617,618号室
4,730円(14室)	3階（1人室）	301,302,303,305,306,307,308号室
	5階（1人室）	501,502,503,505,506,507,508号室

・診断書、文書料、カルテ開示（税込）

学校に関わる証明書	550円
支払いに関する証明書	550円
おしめ証明書	1,100円
普通診断書	2,200円
免許等に関わる診断書	2,200円
裁判に関わる診断書（簡易なもの）	3,300円
自賠明細書	3,300円
通院証明書	3,300円
交通事故診断書（警察用）	4,400円
死亡診断書	5,500円
保険会社用診断書（12ヵ月毎）	5,500円
身体障害者診断書・意見書	5,500円
年金に関わる診断書	5,500円
被爆に関わる診断書	5,500円
自賠診断書	5,500円
後遺症診断書	11,000円
裁判に関わる診断書	11,000円
面談料（自動車保険・生命保険関係）	11,000円
死体検案書	22,000円
カルテ開示手数料（診療録印刷）	5,500円
診療録の写し／CD-R・DVD-R （1枚）	33円～110円 ／1,210円

・おむつ他（税込）

インターネット利用料 （1日）	130円	診察券（再発行）	110円
テレビ、冷蔵庫使用料 （1日）	385円	マスク （2枚）	100円
紙オムツ(1枚)	53円～198円	拭きとりねれタオル （1箱）	462円
寝具（付添用）一式 （1日）	110円	軟膏壷 （個）	55円
寝具追加一点 （1日）	44円	投薬瓶200mL以下 （個）	88円
間歇ｽｷｬﾝ式持続血糖測定（選定療養費）	6,600円	投薬瓶300mL以上 （個）	132円
リブレ2センサー（選定療養費）	11,000円		

なお、衛生材料等の治療（看護）行為及びそれに密接に関連した「ｻｰﾋﾞｽ」や「物」についての費用の徴収や、「施設管理費」等の曖昧な名目での費用は、一切認められていません。

■8. 電子的診療情報連携体制整備加算

当院では、品の高い診療を実施するため、医療DXに取り組んでいます。

◆診察室にてオンライン資格確認等システムにより取得した診療情報等を活用して診療を実施しています。

◆マイナ保険証を促進する等、医療DXを通じて質の高い医療に取り組んでいます。

◆電子処方箋の発行に取り組んでいます。

■9. 地域支援・医薬品供給対応体制加算

当院では、品質、安全性等の情報を収集・評価し、積極的に後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用・使用に取り組んでいます。

■10. リフィル処方箋（院外処方箋）

当院では、28日以上の投薬を院外処方箋で行う際、リフィル処方箋の対応ができます。

■11.外来腫瘍化学療法診療料
当院では、本診療料を算定している患者から電話等による緊急の相談等に24時間対応できる連絡体制を設けています。

■12.身体的拘束の最小化に向け、管理者等を中心として身体的拘束を原則として行わないという組織風土を醸成し、組織的に特に質の高い取組を行う体制づくりに取組んでいます。

■13.入退院支援（入退院支援加算、入院時支援加算）に係る院内掲示
当院では、患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院のご支援を実施しております。

■14.急性期看護補助体制加算について
当院では、看護職員の負担軽減及び処遇の改善として、看護職員と他職種との業務分担、看護補助者の配置、短時間正規雇用の看護職員の活用、妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮、夜勤負担の軽減に取り組んでいます。

■15.病院勤務医・看護職員の負担軽減及び処遇改善への取り組み
当院では、医師・看護職員について、業務量の調整・関係職種との役割分担・勤務計画上の夜勤・当直への配慮等を行い、負担軽減・処遇改善に取り組んでいます。

■16.その他
当院では、安全な医療を提供するために、医療安全管理者が医療安全管理委員会と連携し、より実効性のある医療安全対策の実施や職員研修を計画的に実施しています。

当院では、感染制御チームを設置し、院内感染状況の把握、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止等を行い、院内感染対策を目的とした職員の研修を行っています。

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責任と考えます。個人情報保護に関する方針を定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、個人情報保護に努めます。

当院では、患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間連携を推進し、退院のご支援を実施しております。

当院では、屋内外を問わず、「病院敷地内全面禁煙」となっておりますのでご理解とご協力をお願いします。